



**【紅葉】**

昨年12月に、横浜で見かけた紅葉です。

太陽の光に透けて、とてもきれいな色でした。

(撮影日:2012/12/08, EOS7D+SIGMA AF18-125mmF3.5-5.6DC で撮影)

撮影者：三須 幸一郎(知財部門長)

## 12月の特許相談会

※今月は鳥取地区・米子地区で開催されます。相談をご希望の方は予約をお願いします。



**【鳥取地区】**

相談員：滝本智之弁理士（電気・機械関係他）  
日 時：12月10日（火）13：30より  
場 所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

**【米子地区】**

相談員：富田憲史弁理士（医獣・バイオ関係他）  
日 時：12月4日（水）13：30より  
場 所：総合研究棟3階 セミナー室

### 【目 次】

12月の特許相談会	1
【報 告】CIC 新技術説明会	2
【報 告】第55回鳥取県発明くふう展 表彰式	3
ひとこと用語集「PCT出願」とは	4
【報 告】特許相談会・発明審査委員会の件数	



# キャンパス・イノベーションセンター東京

## 新技術説明会



- 開催日：平成25年11月7日（木）
- 会場：キャンパス・イノベーションセンター東京（CIC東京）
- 主催：CIC東京、（独）科学技術振興機構
- 後援：（独）中小企業基盤整備機構、全国イノベーション推進機関ネットワーク
- 参加大学：山形大学、千葉大学、東京工業大学、新潟大学、奈良先端科学技術大学院大学、鳥取大学、岡山理科大学、広島大学、山口大学、鹿児島大学、高知工科大学

鳥取大学東京オフィスが入所するCIC東京において、同様に当センターにオフィスを有する大学と共同で、新技術説明会を開催致しました。本学からは、特許出願シーズに基づく下記2テーマに関して、口頭発表及びポスター展示を行い、発表には53人の聴講者がありました。また、発表後には個別相談会が実施され、当該技術に興味を示した企業とのマッチングを図りました。

### エネルギー分野

大学院工学研究科  
教授 南条 真佐人



#### 六配位ケイ素陰イオンを用いたイオン液体電解質の開発

Novel Ionic Liquid Electrolyte using Hexacoordinated Silicate

#### 発明概要

新しいリチウム電池用電解質について紹介する。嵩高い置換基を有する六配位ケイ素陰イオン種を用いるイオン液体を開発した。イオン液体中ではリチウムイオンが伝導種であり、高いイオン伝導率を示した。

### 創薬分野

生命機能研究支援センター  
准教授 森本 稔



#### キチン誘導体を用いた生体接着剤・シーリング材の開発

Development of bioadhesive using chitin derivatives

#### 発表概要

水溶性キチンに重合性官能基を導入したキチン誘導体とキチン質ナノファイバーをブレンドした硬化・接着性材料を開発した。キチンは生体親和性材料であり創傷治癒促進活性などの生物活性を有することから、獣医臨床における生体接着剤およびシーリング材として応用可能であることを見出した。



# 第55回 鳥取県発明くふう展

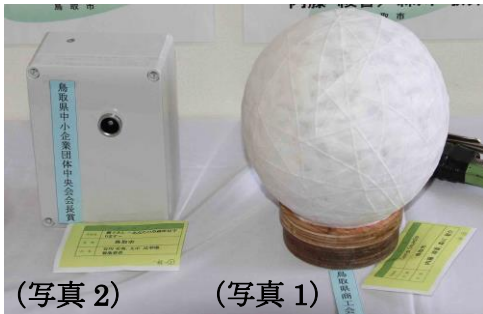
一般社団法人鳥取県発明協会が主催する「第55回鳥取県発明くふう展」において、本学学生から出品された4件の作品が受賞し、11月24日（日）に「さざんか会館」にて表彰式が行われました。おめでとうございます！

「ランナー式コード結束具」は、今年実施した「知的財産インターンシップ」実習にて、考案したアイデアを、「ものづくり教育実践センター」の協力を得て、3Dプリンターを使って試作し、応募したものです。

## 受賞作品



賞名	作品名	受賞者
鳥取県商工会議所連合会会長賞	<b>Lamp Shadia</b> (写真1)	内藤 綾香 森川 敬介
鳥取県中小企業団体 中央会会長賞	<b>麗子さん</b> ～あなたの冷蔵庫見守ります～ (写真2)	安川 史苑 大中 比華瑠 菊池 春香
日本弁理士会中国支部長賞	<b>鳥取県産鹿皮の3WAYバッグ</b> (写真3)	安藤 彰悟 浦川 典子 谷口 悠
鳥取県発明協会会長賞	<b>ランナー式コード結束具</b> (写真4)	土井 彩加



(写真2)

(写真1)



(写真3)

(写真4)



## PCT出願

特許権の実施に関しては、日本国内だけでなく、外国での実施、企業へのライセンスを予定する事があります。そのような場合、特許権は、希望する各々の国で成立を図る必要があります。一方、多くの国にそれぞれ出願をすることは、時間やコスト等、実務的にも困難です。PCT出願はこのように複数の外国で権利を成立させたい時に有効に機能する制度です。特許庁HPによれば、『特許協力条約（PCT：Patent Cooperation Treaty）に基づく国際出願とは、ひとつの出願願書を条約に従って提出することによって、PCT加盟国であるすべての国に同時に提出したと同等の効果を与える出願制度です。』と説明されています。現在PCT加盟国は148カ国であり、PCT出願後、優先日（通常、基礎となる日本出願日）から30カ月以内に権利を得たい国に対して国内移行手続きをします。本学でも研究成果の国際展開に向けた取組みとして、昨年度までに59件のPCT出願を行っています。

### 11月の件数

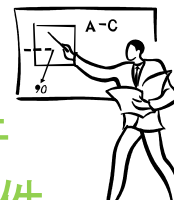
知財部門による特許相談件数・・・5件

定例特許相談会の件数

滝本智之 弁理士(電機・機械関係他)・・・2件

富田憲史 弁理士(医獣・バイオ関係他)・・・3件

発明審査委員会の件数・・・3件



\*\*\*刊行物\*\*\*

知財部門ニュース  
み・ん・なのニュース12月号  
<81号> (通番110号)  
2013年12月1日発行  
編集・著作：  
知的財産管理運用部門  
発行：鳥取大学  
産学・地域連携推進機構

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

今年も、あと1ヶ月になりました！1年が過ぎるのが本当に早いです。12月はイベントがあり、楽しみな月でもありますね。来年に向けて、この1ヶ月頑張りましょう！

\*\*\* 特許等の相談 \*\*\*

相談員：三須 幸一郎（部門長・教授）TEL：0857-31-6000（直通）  
（又は内線 2765）  
山岸 大輔（副部門長・助教）TEL：0857-31-6094（直通）  
（又は内線 4072）  
場 所：産学・地域連携推進機構 2F 知的財産管理運用部門  
E-mail アドレス：[chizai@adm.tottori-u.ac.jp](mailto:chizai@adm.tottori-u.ac.jp)  
FAX 専用：0857-31-5474（又は内線 2771）

産学・地域連携推進機構 HP：<http://www.cjrd.tottori-u.ac.jp/>